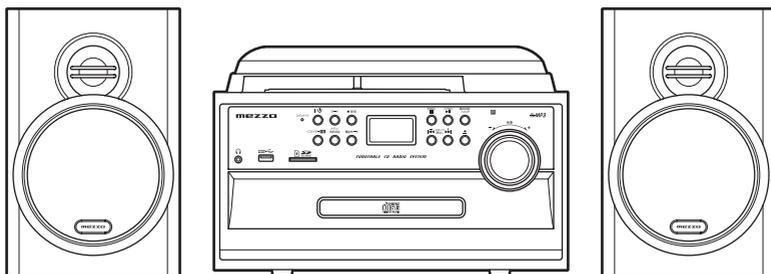


# レコード/カセット/CD/USB/SD オーディオコンポ

## CADC-001 取扱説明書



## 【はじめに】

このたびはCADC-001をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用の前に本取扱説明書を必ずお読みください。

## 【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

- ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■ 次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。



### 警告

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。



### 注意

この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害のない物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

## ! 警告

### ■ 煙が出る、異臭がする、異音ができる

煙が出る、異臭がする、異音ができるときはすぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

### ■ 機器の分解、改造をしない

機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。

点検及び修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

### ■ 機器の内部に異物や水を入れない

筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

### ■ 湿度の高い場所、水気のある場所では使用しない

台所や風呂場など、湿度の高い場所、水気のある場所では使用しないでください。感電や機器の故障、火災の原因となります。

### ■ 不安定な場所に機器を置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

### ■ 電源の指定許容範囲を守る

機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

### ■ 電源コード、接続コードの取扱いについて

電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

### ■ 雷が鳴り出したら電源コードに触れない

感電したり火災の原因となります。

### ■ むれた手で機器に触れない

むれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

## ! 注意

### ■ 設置場所に関する注意事項

以下のような場所に置くこと火災や感電、または故障の原因となります。

- 台所、ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙が付きやすいところ
- 浴室、温室、台所など、湿度の高いところ、雨や水しびきのかかるところ
- 常に5℃以下になる低温なところや40℃以上の高温になるところ
- 火花があたりやすところや、高温の熱源、炎が近いところ
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのあるところ、潮風があたるところ
- 金属粉、研削材、小麦粉、化学調味料、紙屑、木材チップ、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 機械加工工場など切削油または研削油が立ち込めるところ
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込めるところ
- 直射日光のあたるところ

### ■ 長期間使用しない場合は接続コードを外してください

長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

### ■ 機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください

移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

### ■ 小さいお子様を近づけない

お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。

### ■ 静電気にご注意ください

本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

# ■ もくじ

■ はじめに .....	i	■ それぞれのメディアの再生・録音方法 …	16
■ 安全上のご注意 .....	i	• 再生モードの切替方法 .....	16
■ 制限事項 .....	1	■ レコードを再生する .....	17
■ ご使用の前に .....	1	• レコードの再生方法 .....	18
■ 製品仕様 .....	2	• レコード自動停止スイッチについて .....	20
■ 製品内容 .....	2	■ カセットテープを再生する .....	21
■ 各部の名称 .....	3	• カセットテープの再生方法 .....	21
■ リモコンの準備 .....	7	■ AM/FMラジオを聴く .....	25
• 電池の交換方法 .....	7	• ラジオを聴く .....	25
• リモコンの使用方法 .....	7	• 放送局をチャンネル登録する .....	26
■ スピーカーの接続方法 .....	8	■ CDを再生する .....	27
■ 外部機器の接続方法 .....	9	• CDを聴く .....	27
■ 使用方法 .....	11	■ レコード/カセット/ラジオ/CDを再生する …	29
• 電源をオンにする .....	11	• 使用可能なメディア .....	29
• 電源をスタンバイ状態にする .....	11	• 録音の準備をする .....	29
• 電源をオフにする .....	11	• レコード/カセット/ラジオの録音方法 .....	31
• 時計機能について .....	12	• 手動で録音ファイルを分割する .....	32
• 音量の調節方法 .....	13	• CDの録音方法 .....	33
• ヘッドホン、イヤホンを使う .....	13	■ SDメモリカード、USBメモリの音楽データを再生する …	35
• スリープタイマーについて .....	14	• SDメモリカードの再生方法 .....	35
• イコライザーについて .....	15	• USBメモリの再生方法 .....	36
		■ トラブルシューティング .....	37
		■ サポートのご案内 .....	39

## 【制限事項】

- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
- 本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
- SDカード、USBメモリ等に録音した著作権法で保護されている音楽は、個人で楽しむ以外に権利者の許可なく譲渡、販売等を行うことはできません。

## 【ご使用前に】

- 本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡いただけますようお願いいたします。
- 本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
- 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

### ■ 注意!

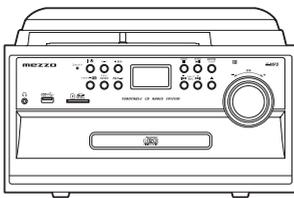
静電気や水分(結露等)は機器を破壊する原因となりますので、各種メディアの取り扱い時には静電気防止バンド等を用い、水気を避けて故障の防止に努めてください。

## 【製品仕様】

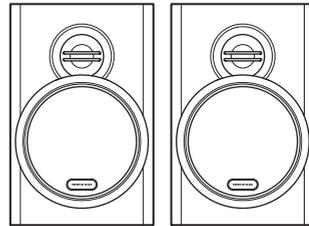
型番：CADC-001  
商 品 名：レコード/カセット/CD/USB/SDオーディオコンボ  
再生可能メディア：レコード、CD、CD-R/RW、カセットテープ、USBメモリ、SDメモリカード、SDHCメモリカード、マルチメディアカード(MMC)  
録音可能メディア：USBメモリ、SDメモリカード、SDHCメモリカード、マルチメディアカード(MMC)  
対応容量：■ SD/MMC…2GBまで ■ SDHC…32GBまで ■ USBメモリ…32GBまで  
再生フォーマット：CD-DA、MP3、WMA  
再生可能ビットレート：【MP3】8kbps～384kbps 【WMA】8kbps～384kbps  
再生可能サンプリングレート：【MP3】32/44.1/48kHz 【WMA】32/44.1/48kHz  
録音フォーマット：MP3  
録音可能ビットレート：32/64/96/128/192/256kbps  
録音可能サンプリングレート：44.1kHz  
レコードプレイヤー部：回転速度 33/45回転（スイッチにて切り替え可）  
A M / F M ラジオ部：【受信方式】PLLデジタル ■ AM 522 ～1629kHz(モノラル)  
■ FM 76 ～90MHz(モノラル/ステレオ)  
スピーカー出力：4W(2W+2W)  
ポート/スロット：USBメモリ接続ポート、カセットテープスロット、SD/MMCカードスロット  
出力端子：音声出力端子(RCAピンプラグ)、スピーカー出力端子(プッシュタイプ)、ヘッドホン出力端子(ミニジャック)  
重 量：【オーディオコンボ本体】約3.5kg 【スピーカー(1本)】約1.2kg  
寸 法：【オーディオコンボ本体】幅 315mm×高さ 214mm×奥行き 253mm  
(突起部除く、ダストカバー含む)  
【スピーカー(1本)】幅 141mm×高さ 225mm×奥行き 130mm(突起部除く)  
温 度 ・ 湿 度：温度5℃～35℃・湿度20%～80%(結露なきこと)

## 【製品内容】

1. CADC-001本体



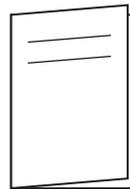
2. スピーカー × 2



3. 専用リモコン × 1

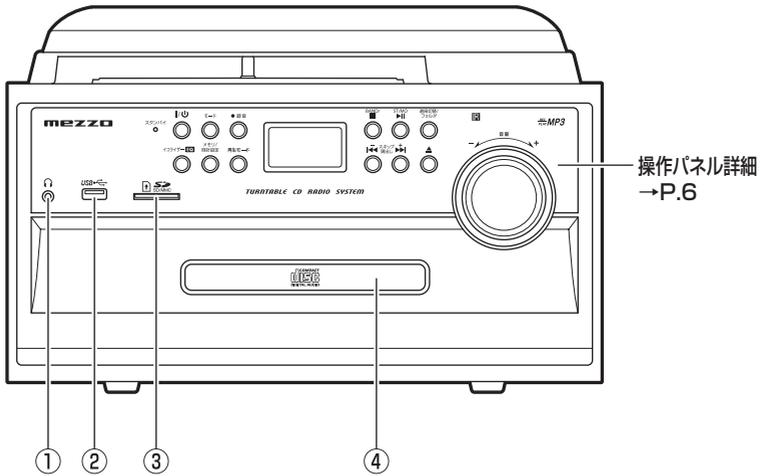


4. 取扱説明書/保証書



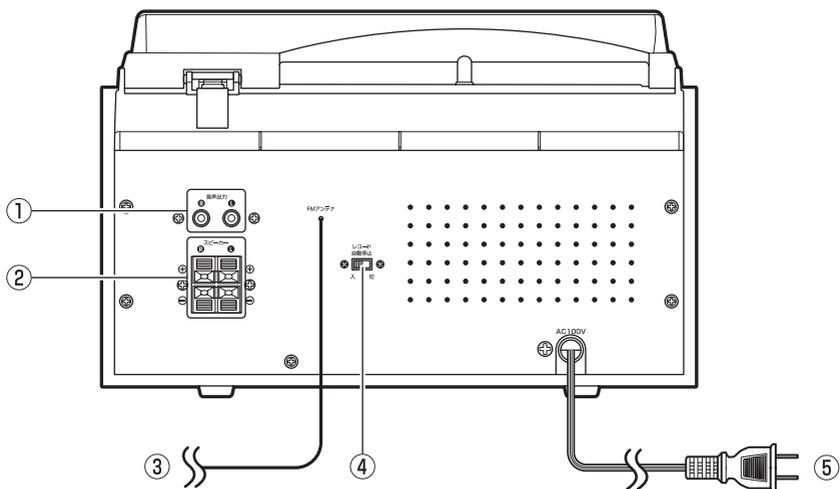
## 【各部の名称】

### 〈前面〉



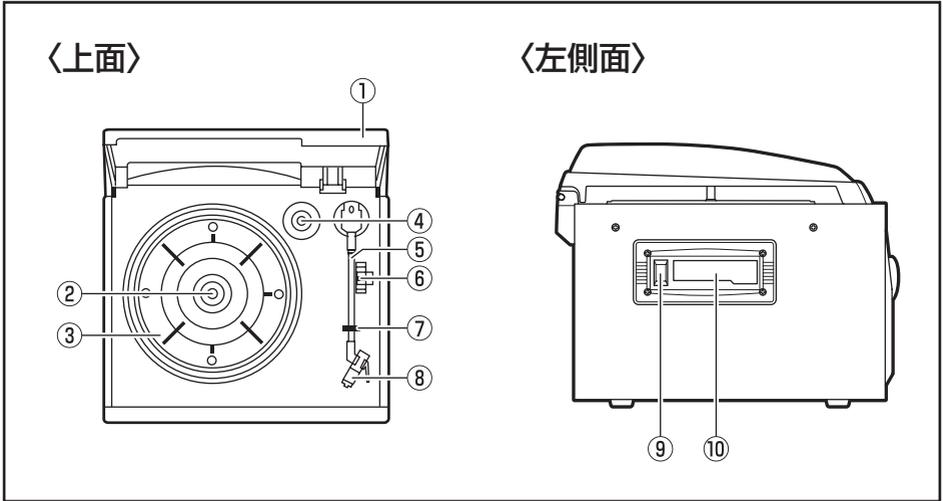
- ① ヘッドホン出力  
・ヘッドホンを接続します。(3.5mmミニジャック)
- ② USBメモリ接続ポート  
・USBメモリを接続します。
- ③ SDメモ리카ードスロット  
・SDメモ리카ードを挿入します。
- ④ CDトレイ  
・音楽CDをセットします。

## 〈背面〉



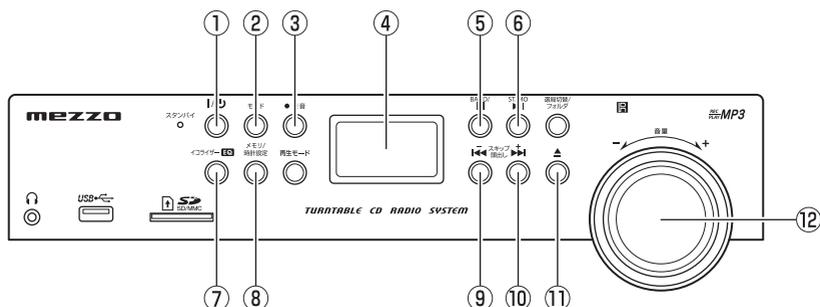
- ① 音声出力端子  
・アンプなどの外部機器を接続します。
- ② スピーカー出力端子  
・付属のスピーカーを接続します。
- ③ FMラジオ用アンテナ  
・FMラジオのアンテナの向きを調整できます。
- ④ レコード自動停止スイッチ  
・ターンテーブルの動作を変更します。
- ⑤ 電源ケーブル  
・コンセントに接続します。

## 【各部の名称】



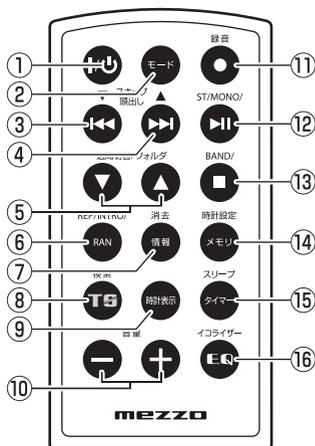
- ① ダストカバー
- ② スピンドル
- ③ ターンテーブル
- ④ EPレコード用ディスクスタビライザー
- ⑤ トーンアーム
- ⑥ レコード回転数切り換え切替スイッチ（33/45回転）
- ⑦ アームレスト/固定フック
- ⑧ レコード針カートリッジ
- ⑨ 早送り/取出しボタン
- ⑩ カセットテープスロット

## 〈操作パネル〉



- |               |                     |             |
|---------------|---------------------|-------------|
| ① 電源ボタン       | ⑤ 停止/AM・FM切替ボタン     | ⑨ 前曲/巻戻しボタン |
| ② モード切替ボタン    | ⑥ 再生/ステレオ・モノラル切替ボタン | ⑩ 次曲/早送りボタン |
| ③ USB/SD録音ボタン | ⑦ イコライザー設定ボタン       | ⑪ CD取出しボタン  |
| ④ 情報ディスプレイ    | ⑧ メモリ/時計設定ボタン       | ⑫ ボリューム     |

## 〈リモコン〉



- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| ① 電源ボタン             | ⑪ 録音ボタン             |
| ② モード切替ボタン          | ⑫ 再生/ステレオ・モノラル切替ボタン |
| ③ 前曲/巻戻しボタン         | ⑬ 停止/AM・FM切替ボタン     |
| ④ 次曲/早送りボタン         | ⑭ メモリ/時計設定ボタン       |
| ⑤ 選局切替/フォルダボタン      | ⑮ タイマー /スリープボタン     |
| ⑥ ランダム/リピート・イントロボタン | ⑯ イコライザー設定ボタン       |
| ⑦ 情報/消去ボタン          |                     |
| ⑧ TS/検索ボタン          |                     |
| ⑨ 時計表示ボタン           |                     |
| ⑩ 音量 (+/-) ボタン      |                     |

## 【リモコンの準備】



注意

### ■ 電池の取扱いについて

- ・ 指定以外の電池は使用しないでください。
- ・ 極性(+/−)を間違えて挿入しないでください。
- ・ 充電、加熱、分解、ショートしたり、火の中に投げないでください。
- ・ 「使用推奨期限」を過ぎた電池や、使用済みの電池はリモコンに入れてままにしないでください。

※これらの事項を守らないと、液漏れ・破損などにより、やけどやけがの原因となることがあります。

もし、電池の液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

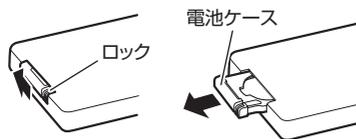
購入時、リモコンは付属の電池があらかじめセットされています。

最初にリモコンを使用するときは、リモコン裏面から出ている絶縁シールを引き抜いてください。

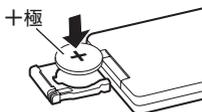
## 電池の交換方法

電池切れのためにリモコンの操作ができなくなったら、電池の交換をしてください。

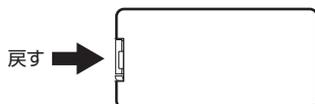
1. リモコン裏面にある電池ケース用ロックを内側にスライドさせ、電池ケースを手前に引き出します。



2. 新しい電池(コイン形リチウム電池:CR2032)を、+極を上に向けて電池ケースをセットします。



3. 電池ケースを元に戻します。

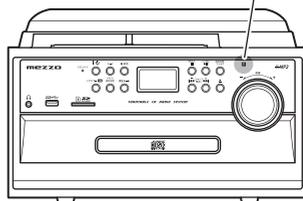


### ■ 注意!

- ・ リモコンが動作しなかったり、到達距離が短くなったときは、新しい電池と交換してください。

## リモコンの使用法

リモコン受光部



- ・ リモコンをプレーヤー本体のリモコン受光部に向けてボタンを押します。

※リモコン受光部に太陽光や蛍光灯など強い光が当たると、リモコンが動作しないことがあります。

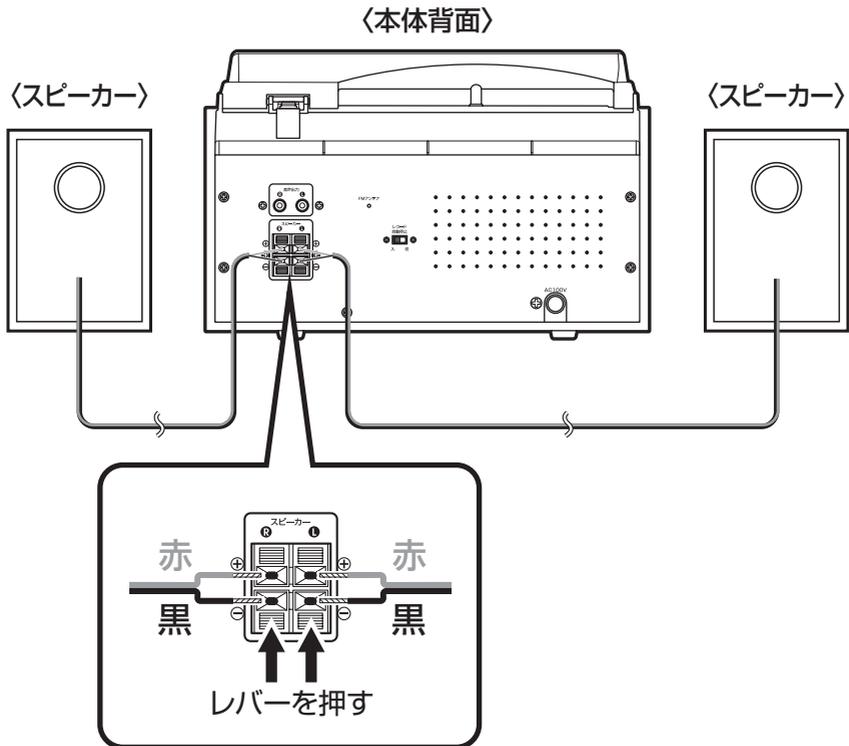
### ■ 注意!

- ・ リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- ・ 高温、高湿になる場所に置かないでください。

## 【スピーカーの接続方法】

図のように付属のスピーカーと本体を接続します。

※スピーカーは左右同じ構造です。接続した端子によって左右が決まります。

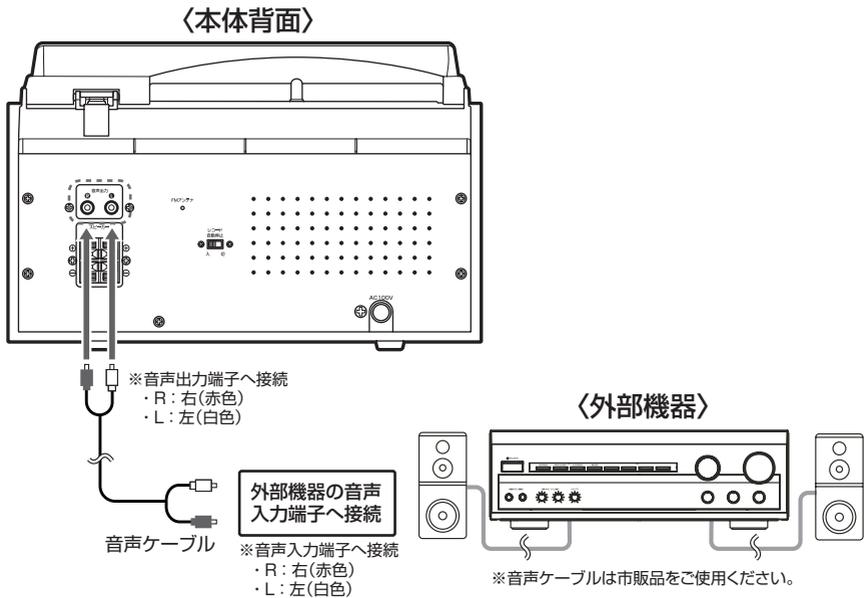


### ■ 注意!

- スピーカー接続の際は必ず本製品の電源が入っていないことを確認してから行ってください。  
電源が入った状態でスピーカーを接続すると、本体およびスピーカーが破損するおそれがあります。
- スピーカーケーブルをスピーカー出力端子に接続する際、必ず極性をそろえてください(赤が+、黒が-)。  
左右スピーカーの極性が異なると、正しい音質で再生がされません。

## 【外部機器の接続方法】

本製品のアンプ、スピーカーを使用せず、外部のアンプなどを使用する場合は、市販のオーディオケーブルを用いて図のように接続してください。



### ■ 注意!

- 外部機器の接続の際は、必ず本製品および外部機器の電源が入っていないことを確認してから行ってください。  
電源が入った状態で接続を行うと、本製品ならびに外部機器が破損するおそれがあります。



## 【使用方法】

### 電源をオンにする

- ACケーブルをコンセントに接続し、本体の<電源>ボタン、またはリモコンの<電源>ボタンを押すと、電源がオンになります。
- 電源がオンになると、情報ディスプレイが点灯し「HELLO」と表示され、ボリュームの周りが青く点灯します。

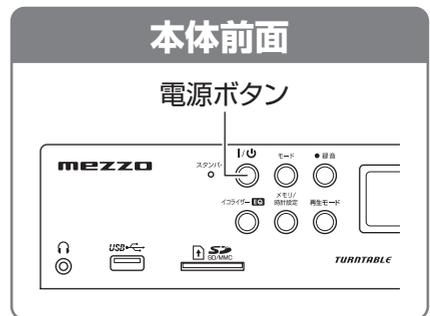
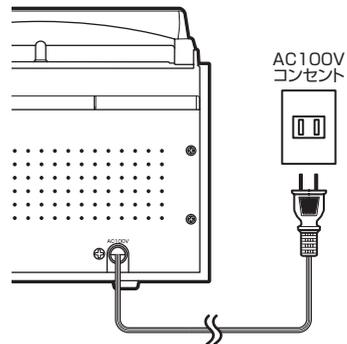
### 電源をスタンバイ状態にする

- 再度、本体/リモコンの<電源>ボタンを押すと、情報ディスプレイに「GOOD BYE」と表示され、スタンバイ状態になります。

### 電源をオフにする

- 完全に電源をオフにする場合は、ACケーブルをコンセントから抜いてください。

※完全に電源をオフにすると、時刻の設定やプログラム機能で登録した曲順などはすべて消去されます。あらかじめご了承ください。



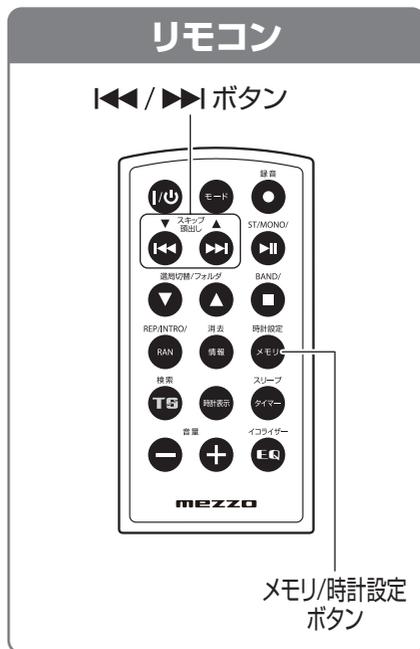
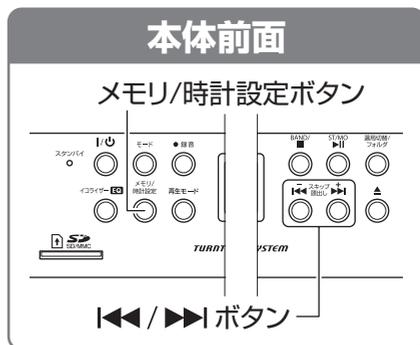
## 時計機能について

本製品がスタンバイ時、または電源オン時に、リモコンの<時計表示>ボタンを押すと現在の時刻が表示されます。

### ● 時刻の設定方法

1. スタンバイ状態で本体/リモコンの<メモリ/時計設定>ボタンを押します。
2. 「12HR/24HR(12時間/24時間表示)」が表示されますので、本体/リモコンの|◀◀/▶▶|ボタンでどちらかを選択し、<メモリ/時計設定>ボタンを押します。
3. |◀◀/▶▶|ボタンを使い、時刻を合わせます。  
最初に時数を合わせ、<メモリ/時計設定>ボタンを押し、次に分数を合わせ<メモリ/時計設定>ボタンを押します。  
以上で時刻の設定は完了です。

※ACケーブルを抜いて電源をオフにすると、設定した時刻はリセットされます。





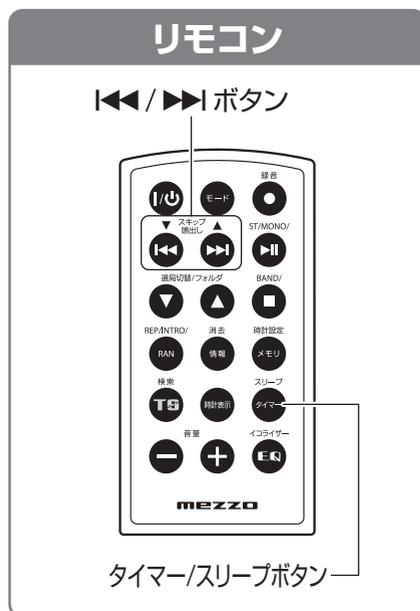
## スリープタイマーについて

スリープタイマー(自動電源スタンバイ)機能を設定できます。

この機能を設定すると、情報ディスプレイに「SLLEP」アイコンが点滅します。

### ● スリープタイマーの設定方法

1. 本体またはリモコンの<電源>ボタンを押し、電源をオンにします。
2. リモコンの<タイマー/スリープ>ボタンを押します。情報ディスプレイにスリープタイマーが表示されます。  
ボタンを1回押すごとに設定時間を変更できます。  
～設定時間(分)～  
[ 90/80/70/60/50/40/30/20/10/OFF ]
3. 設定した時間が過ぎると、電源が自動的にスタンバイ状態になります。



# 【使用方法】

## イコライザーについて

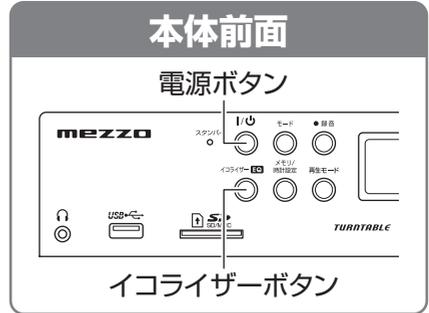
イコライザーを使用して、ジャンルに合った音質を設定できます。

### ● イコライザーの設定方法

1. 本体/リモコンの<電源>ボタンを押し、電源をオンにします。
2. 本体/リモコンの<イコライザー>ボタンを押すと、プリセットが選択できます。ボタンを押すたびにプリセットが切り替わります。  
イコライザーが有効になっている際は、情報ディスプレイに[EQ]と表示されます。

～イコライザープリセット～

[CLASSIC/ROCK/POP/JAZZ/FLAT(オフ)]



## 【それぞれのメディアの再生・録音方法】

本製品はレコード、カセットテープ、CD、AM/FMラジオの再生および、それらのメディアからSDメモリカード、USBメモリに音楽を録音することができます。録音した音楽は本製品で再生できるほか、MP3形式で記録されるので、お手持ちのMP3プレーヤーやPCで再生することもできます。

また、PCで再生することもできます。

それぞれのメディアの詳しい再生、録音方法は下記ページをご参照ください。

### 再生

- レコード：『PHONO』  
→P.17【レコードを再生する】
- カセットテープ：『TAPE』  
→P.21【カセットテープを再生する】
- AM/FMラジオ：『TUNER』  
→P.25【AM/FMラジオを聴く】
- CD：『CD』  
→P.27【CDを再生する】

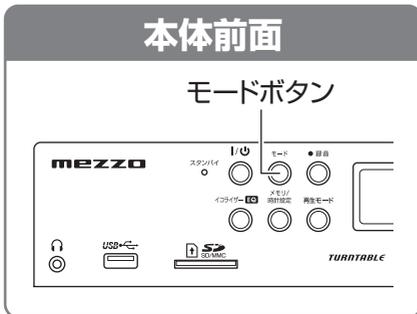
### 録音

- レコード/カセット/ラジオを録音する  
→P.31【レコード/カセット/ラジオの録音方法】
- CDを録音する  
→P.33【CDの録音方法】
- SDメモリカード：『』  
→P.35【SDメモリカードの再生方法】
- USBメモリ：『』  
→P.36【USBメモリの再生方法】

## 再生モードの切替方法

それぞれのメディアを再生するにはモードを切り替える必要があります。

本製品の電源がオンの状態で、本体またはリモコンの<モード>ボタンを押すごとに再生モードが切り替わり、情報ディスプレイに現在の再生モードが表示されます。



## 【レコードを再生する】

～ご使用前に～

- 本製品は33/45回転のレコードに対応しています。回転数はレコード回転数切替スイッチで変更できます。
- 45回転のレコードを再生する場合は付属のディスクスタビライザーをご使用ください。
- レコード針カートリッジ部分には、レコード針を保護するためのカバーが取り付けられていますので、カバーを取り外してからご使用ください。  
また、長時間使用しない場合はレコード針保護のため、カバーを取り付けてください。
- レコード再生中はダストカバーを閉じ、レコードにほこり等が付着しないようにしてください。
- レコード針は消耗品です。交換用レコード針カートリッジは弊社オンラインショップにて販売しています。  
※レコード針の使用耐久時間の目安は約500時間になります。それ以上の使用を続けると、レコードを傷つけてしまうおそれがありますのでご注意ください。  
※レコード針カートリッジの交換方法は下記オンラインショップの商品ページをご確認ください。

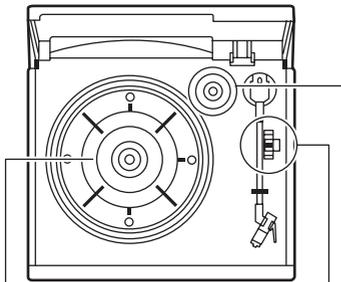
ご購入は  
こちらで

<http://www.century-direct.net>

センチュリーダイレクト

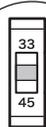
検索

### 本体上面

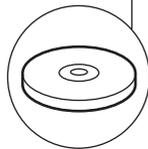


ターンテーブル

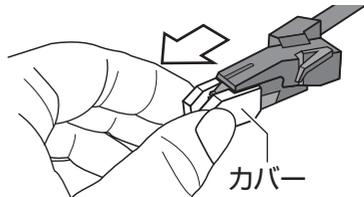
レコード回転数  
切替スイッチ



ディスクスタビライザー



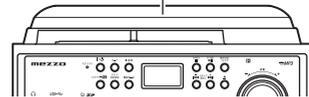
### カートリッジカバー



カバー

### 本体上部

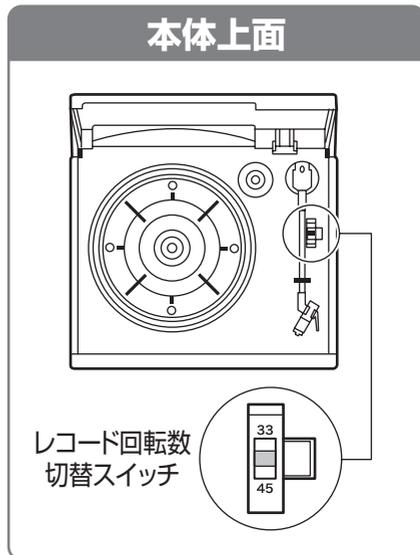
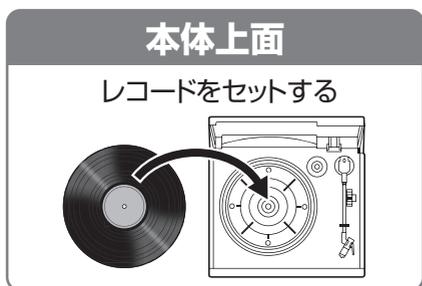
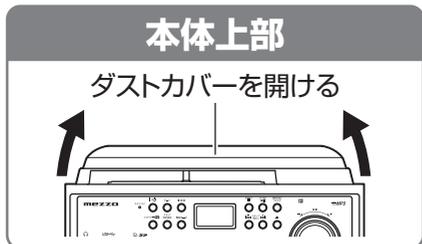
ダストカバー



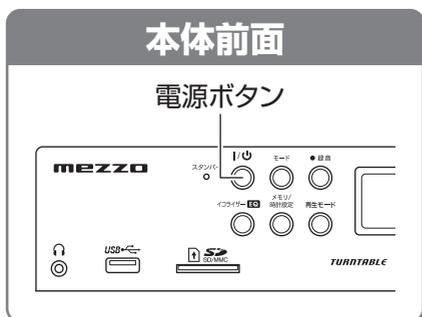
## レコードの再生方法

1. 本体がスタンバイ状態になっていることを確認し、ダストカバーを開けてレコードを再生面に上にしてセットします。

このとき、レコードの回転数に合わせてレコード回転数切替スイッチをセットしてください。



2. 本体またはリモコンの<電源>ボタンを押し、電源をオンにします。





5. レコードを再生したい位置にゆっくりとレコード針を下ろすと、再生が開始されます。



6. レコードの再生が終了したら、トーンアームを持ち上げながらアームレストへ戻し、トーンアーム固定フックで固定してください。



## レコード自動停止スイッチについて

背面のレコード自動停止スイッチを切り替えることによって、ターンテーブルの動作を変更することができます。

・レコード自動停止ON :

トーンアームを持ち上げてレコードに近づけた際に、ターンテーブルが回転します。

また、トーンアームをアームレストに戻した際と曲の再生が終了した際に、ターンテーブルが停止します。

・レコード自動停止OFF :

モードがレコード再生 ( PHONO ) の時は、常にターンテーブルが回転します。

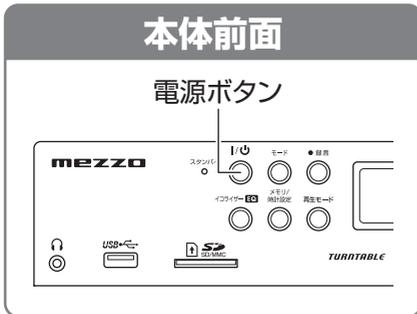
## 【カセットテープを再生する】

～ご使用前に～

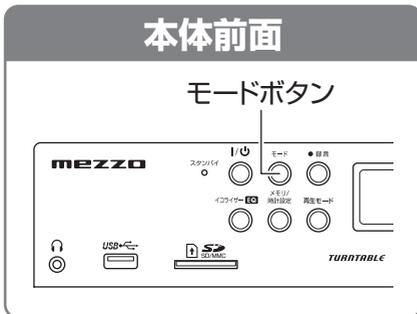
- カセットテープを再生する前に、テープにたるみがないかご確認ください。  
テープにたるみがある場合は、リール部分を鉛筆等で回転させてたるみを取ってください。
- 60分以上のテープは磁気テープ部分が薄く、再生トラブルが発生する場合がありますので、なるべく使用しないでください。
- 劣化の著しいカセットテープの再生は製品の故障原因になりますので、使用しないでください。

### カセットテープの再生方法

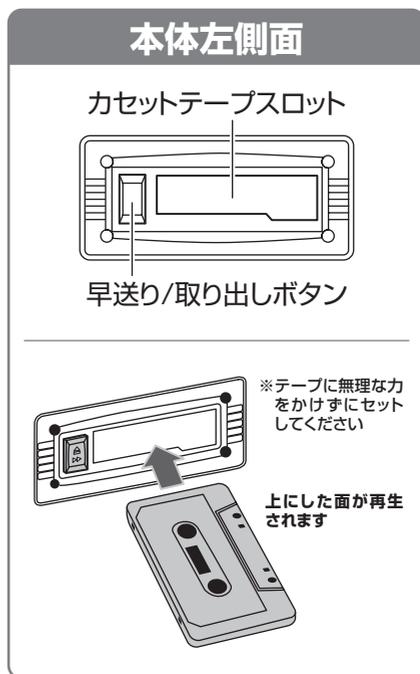
1. 本体またはリモコンの<電源>ボタンを押し、電源をオンにします。



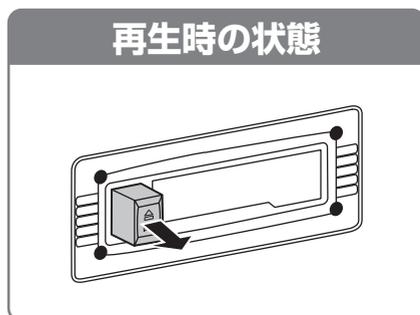
2. 本体/リモコンの<モード>ボタンを押し、再生モードを「TAPE」にセットします。



3. カセットテープスロットに、再生したい面を上にした状態でカセットテープを差し込みます。



4. <早送り/取出し>ボタンが飛び出し、自動的にカセットテープの再生が始まります。

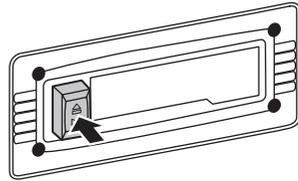


## 【カセットテープを再生する】

5. <早送り/取出し>ボタンを半分ほど押し込むと早送りができます。

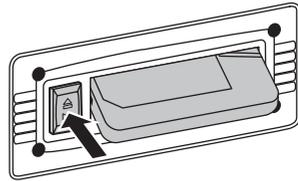
巻き戻し機能はないため、巻き戻したい場合はテープを反対面にセットし、早送りを行ってください。

### 早送り時の状態



6. <早送り/取出し>ボタンをゆっくり最後まで押し込むと、カセットテープを取り出すことができます。

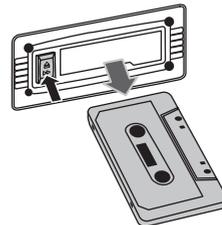
### 取り出し時の状態



7. テープが最後まで再生されると、自動的に停止します。

反対の面を聞く場合は、<早送り/取出し>ボタンを奥までゆっくり押し込み、テープを取り出して反対の面をセットしてください。

### 反対面再生時

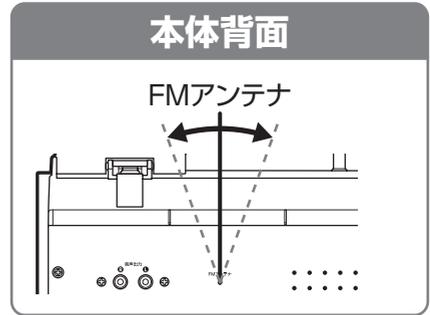




## 【AM/FMラジオを聴く】

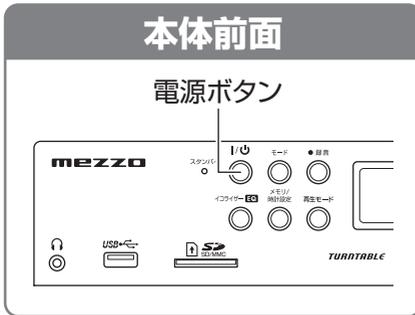
～ご使用前に～

- 本製品をあらかじめ受信感度の良好な場所に設置してください。
- より良いFM電波を受信するためには、本体背面にあるFMアンテナを調整してください(AMアンテナは本体に内蔵されているため調整できません)。
- FM電波の受信が難しい場合は、リモコンの **▶||** (ST/MONO) ボタンを押して音声を「MONO」に切り替えると、雑音や音切れを軽減することができます。状況に合わせて設定してください。

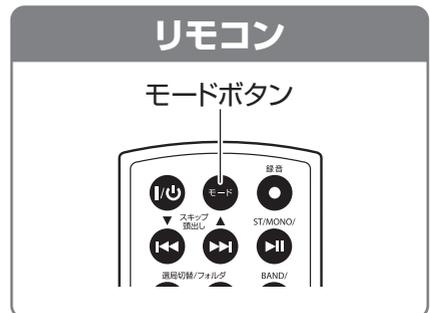
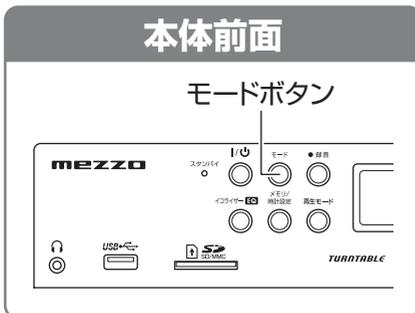


## ラジオを聴く

1. 本体またはリモコンの<電源>ボタンを押し、電源をオンにします。



2. 本体/リモコンの<モード>ボタンを押し、再生モードを「TUNER」にセットします。

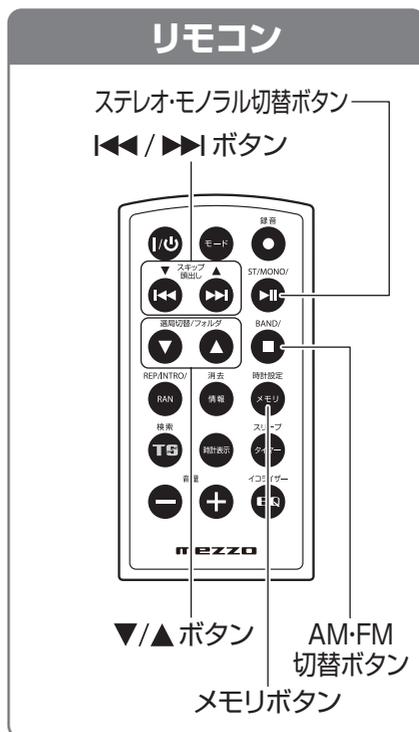
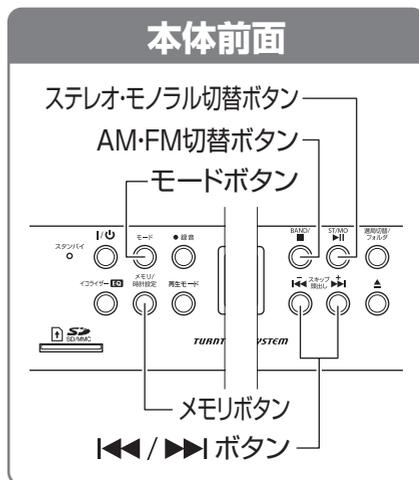


3. 本体/リモコンの<BAND>ボタンでAMとFMを切り替えます。
4. 本体/リモコンの |◀◀/▶▶| ボタンで放送局の周波数を設定します。  
このとき、ボタンを長押しすると自動的に受信可能な放送局を検索します。

## 放送局をチャンネル登録する

AM/FM放送局をチャンネルに登録することで、簡単に選局ができるようになります。

1. 登録したい放送局に周波数を合わせます。
2. 本体/リモコンの<メモリ>ボタンを押すと、登録するチャンネル番号が情報ディスプレイに表示されます。
3. <選局切替>ボタンで設定したいチャンネル番号に合わせ、再度<メモリ>ボタンを押すとチャンネル登録が完了します。  
複数のチャンネル登録を行う場合は、上記の出順を繰り返してください。  
チャンネル登録後は、<選局切替>ボタンを押すことでチャンネルを切り替えることができます。



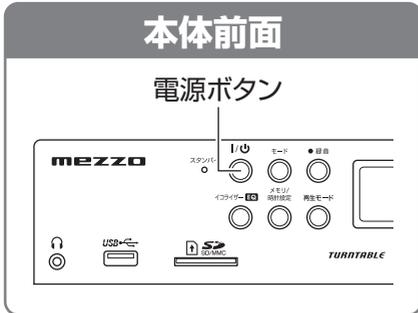
## 【CDを再生する】

～ご使用の前に～

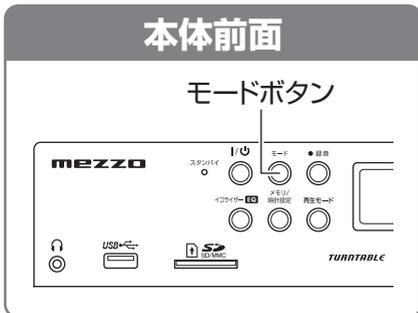
- 本製品で再生可能なCDは、市販の8cm/12cm音楽CD、CD-DAフォーマットで記録された音楽用CD-Rになります。データ用CD-ROMやビデオCD、DVD等の音声は再生できません。
- 特殊な記録形式のCD（CCCDやCD Extra）は再生できない場合があります。
- 記録面が汚れているCDは再生できない場合があります。あらかじめ汚れ等はふき取ってからセットしてください。

## CDを聴く

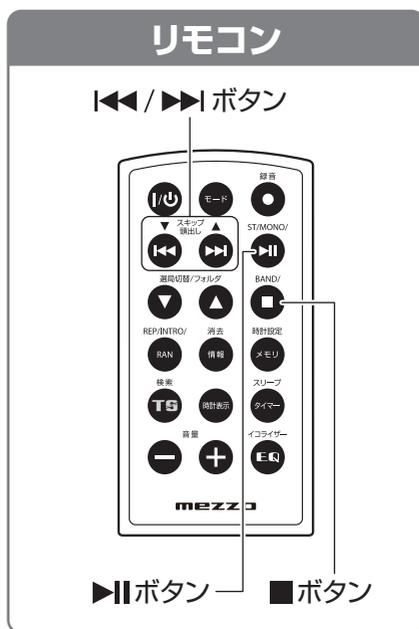
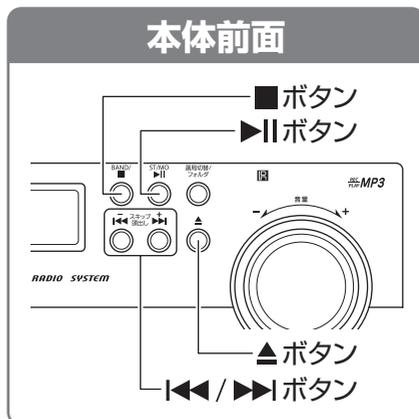
1. 本体またはリモコンの<電源>ボタンを押し、電源をオンにします。



2. 本体/リモコンの<モード>ボタンを押し、再生モードを「**CD**」にセットします。



3. 本体の<CD取出し>ボタン (▲) を押すとCDトレイが開きますので、CDをトレイのくぼみに合わせてセットし、再度本体の<CD取出し>ボタン (▲) を押してトレイを閉めます。
4. CDが読み込まれ、情報ディスプレイにCDのトラック数と収録時間が表示されます。
5. 本体/リモコンの ▶|| ボタンを押すとCDの再生が始まります。  
再度 ▶|| ボタンを押すとCDが一時停止します。
6. 本体/リモコンの ■ ボタンを押すと再生が停止します。
7. 本体/リモコンの |◀◀ / ▶▶| ボタンを短く押すと、選曲ができます。  
再生中に |◀◀ / ▶▶| ボタンを長押しすると、巻き戻し/早送りができます。



## 【レコード/カセット/ラジオ/CDを録音する】

本製品はレコード/カセット/ラジオ/CDの音声を、USBメモリまたはSDメモリカードに録音することができます。

録音した音楽は本製品で再生できるほか、MP3形式で記録されるのでお手持ちのMP3プレーヤーやPCで再生することもできます。

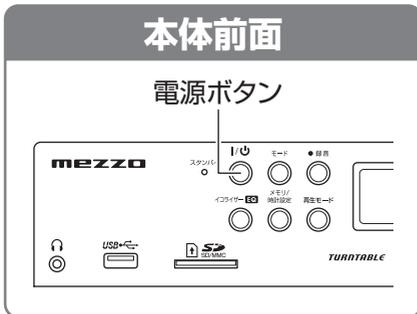
- レコード/カセット/ラジオの録音方法→P.31
- CDの録音方法→P.33

### 使用可能なメディア

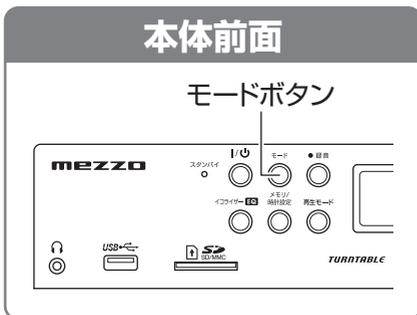
- SDメモリカード (2GBまで)
- SDHCカード (32GBまで)
- USBメモリ (32GBまで)

### 録音の準備をする

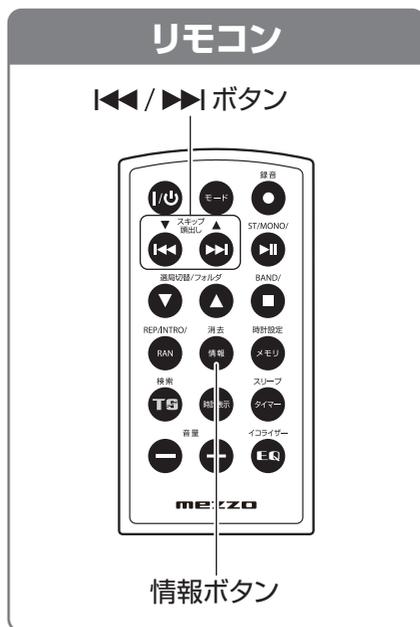
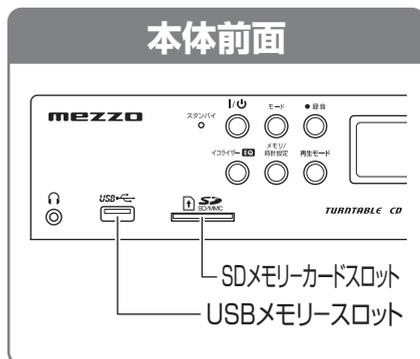
1. 本体またはリモコンの<電源>ボタンを押し、電源をオンにします。



2. 本体/リモコンの<モード>ボタンを押し、録音をしたいメディアをレコード、カセット、ラジオ、CDから選択します。



3. 録音するメディアをセットします。
4. USBメモリまたはSDメモ리카ードを本体のUSBメモリスロット、SDメモ리카ードスロットに接続します。
5. リモコンの<情報>ボタンを押すと、録音品質が選択できます。  
標準設定は128Kbpsになり、|◀◀/▶▶| ボタンで 32/64/96/128/192/256 Kbpsが選択できます。  
数値が高いほど高音質で録音できますが、データの容量が大きくなります。  
録音品質を選択後、再度<情報>ボタンを押すと録音品質の設定が完了します。



# 【レコード/カセット/ラジオ/CDを録音する】

## レコード/カセット/ラジオの録音方法

1. 録音の準備の後、本体/リモコンの<録音>ボタンを押すと、録音がスタートするので、タイミング良く録音するメディアの再生を行ってください。録音時は情報ディスプレイに「REC (REC)」と録音しているメディア「SD (SD)」 「USB (USB)」が点滅します。

※録音する際にSDメモ리카ードとUSBメモリが同時に接続されている場合、<録音>ボタンを押した時にどちらのメディアに録音するかを確認されます。

◀◀/▶▶ ボタンで選択し、再度<録音>ボタンを押してください。

2. 録音中にもういちど<録音>ボタンを押すと、情報ディスプレイの「REC (REC)」と録音しているメディア「SD (SD)」 「USB (USB)」の点滅が消え、録音が終了します。

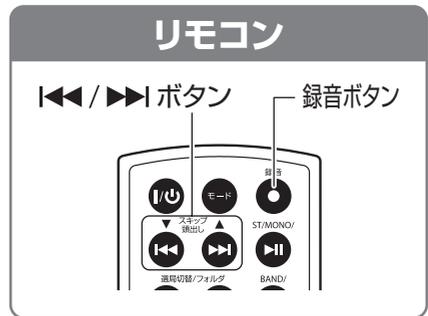
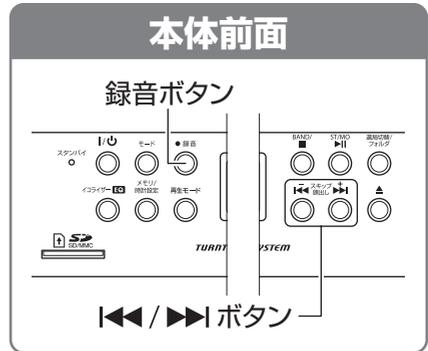
※録音中はボタンの操作を行わないでください。

3. 録音されたデータは本体の「SD」「USB」モードで再生することが可能です。

→P.35【SDメモ리카ード、USBメモリの音楽データを再生する】

### ■ 注意！

録音中にSDメモ리카ード、USBメモリの抜き差しを行わないでください。  
録音できないばかりでなく、メディアが破損するおそれがあります。



## 手動で録音ファイルを分割する

本製品はレコード/カセット/ラジオ録音時、特に操作しない場合はひとつの録音ファイルとして記録されます。

曲単位などで録音ファイルを分割したい場合は次の操作を行ってください。

1. P.31「レコード/カセット/ラジオの録音方法」の手順で録音を開始します。
2. 録音中、曲間等のファイルを分割したいところでリモコンの<TS>ボタンを押すと、情報ディスプレイに「[CHECK]」と表示され、ファイルが分割されます。



## TIPS

- ファイル分割操作を行うと、分割後の曲の先頭部分が記録されないことがあります。
- ライブ音源等、曲が連続して再生される音源については本製品のファイル分割を使用せず、1つのファイルとして録音し、その後PCのオーディオ編集ソフト等でファイルを分割する方が仕上がりが良くなる場合があります。

# [レコード/カセット/ラジオ/CDを録音する]

## CDの録音方法

[全トラックを録音する]

1. P.29「 ■ 録音の準備をする 」の後、**CDの再生が停止していることを確認し**、本体/リモコンの<録音>ボタンを押すとCDの再生が始まり、同時に録音がスタートします。

録音時は情報ディスプレイに「REC (REC)」と録音しているメディア「SD (SD)」 「USB (USB)」が点滅します。

※録音する際にSDメモリーカードとUSBメモリーが同時に接続されている場合、<録音>ボタンを押したときにどちらのメディアに録音するかを確認されます。

「<</>>」ボタンで選択し、再度<録音>ボタンを押してください。

2. CDの再生が終わると録音は自動的に終了します。

### ■ 注意！

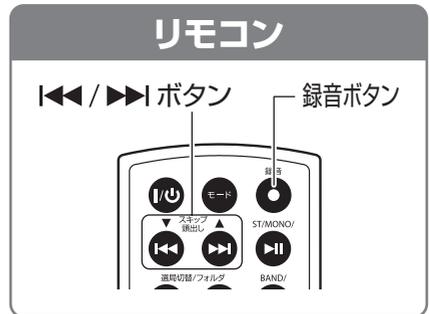
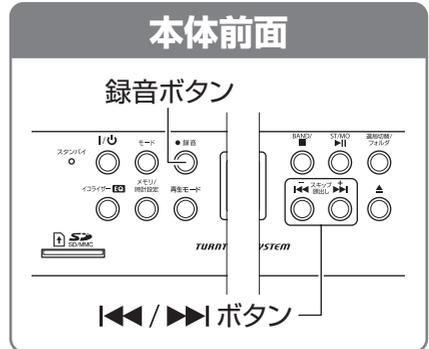
CDの録音は最低1曲単位で行われます。  
曲の途中でCDを停止したり、録音を終了すると、ファイルとして保存されません。

4. 録音されたデータは本体の「SD」「USB」モードで再生することが可能です。

→P.35【SDメモリーカード、USBメモリーの音楽データを再生する】

### ■ 注意！

録音中にSDメモリーカード、USBメモリーの抜き差しを行わないでください。  
録音できないばかりでなく、メディアが破損するおそれがあります。





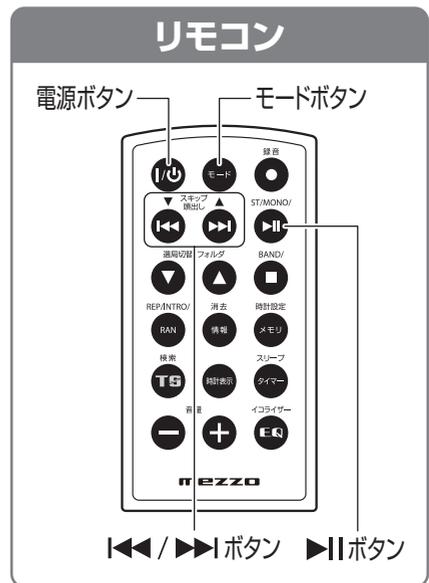
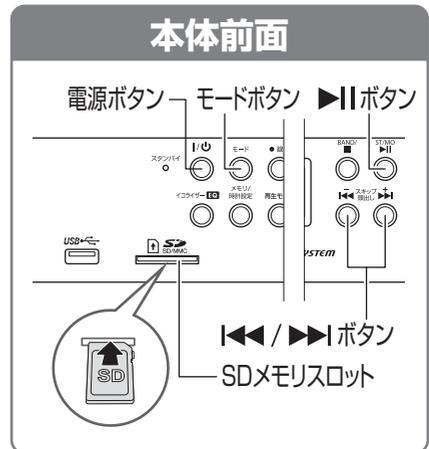
# 【SDメモ리카ード、USBメモリの音楽データを再生する】

## SDメモ리카ードの再生方法

1. 本体にSDメモ리카ードをセットします。
2. 本体またはリモコンの<電源>ボタンを押し、電源をオンにします。
3. 本体/リモコンの<モード>ボタンを押し、再生モードを「[RRD]」にセットします。
4. SDメモ리카ードが読み込まれ、情報ディスプレイに収録された曲数が表示されます。
5. 本体/リモコンの ▶|| ボタンを押すと曲の再生が始まります。  
再度 ▶|| ボタンを押すと曲が一時停止します。
6. 本体/リモコンの □ ボタンを押すと再生が停止します。
7. 本体/リモコンの ◀◀ / ▶▶ ボタンを短く押すと選曲ができます。  
◀◀ / ▶▶ ボタンを長押しすると巻き戻し/早送りができます。

### ■ 注意！

SDメモ리카ードを抜き差しする際は、必ず再生が停止していることを確認してから行ってください。再生中に抜き差しを行うと、メディアが破損するおそれがあります。





## 【トラブルシューティング】

■ 故障かな？とお思いのときは、カスタマーセンターへご連絡されるまえに、次の点をお調べください。

症 状	確 認
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれているかご確認ください。</li> </ul>
スピーカーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれているかご確認ください。</li> <li>●音量が最小になっていないかご確認ください。</li> <li>●ヘッドホン端子にヘッドホン、イヤホンが接続されているとスピーカーから音が出ません。接続をご確認ください。</li> </ul>
ノイズが入る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体やスピーカーの近くにテレビ等の強い磁気を帯びたものがあると、ノイズが入る場合があります。設置位置をご確認ください。</li> </ul>
再生されない、音飛びする、正常な音質が得られない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レコード <ul style="list-style-type: none"> <li>●レコード針のカートリッジカバーが取り外されているかご確認ください。</li> <li>●針先が消耗していないかご確認ください。</li> <li>●レコードにほこりが付着していないか、傷等がないかご確認ください。</li> <li>●本体が水平に接地されていないと回転ムラが発生して、音質に影響を与えます。本体は必ず水平な場所に設置してください。</li> <li>●再生速度が正しいかご確認ください。</li> </ul> </li> <li>●カセット <ul style="list-style-type: none"> <li>●カセットテープが正しくセットされているかご確認ください。</li> <li>●本製品はTypeⅢ(フェリクロムテープ)やTypeⅣ(メタルテープ)には再生ヘッドが対応していないため、再生は可能ですが、音質については保証できません。あらかじめご了承ください。</li> </ul> </li> <li>●CD <ul style="list-style-type: none"> <li>●再生面に傷や汚れがないかご確認ください。</li> <li>●CCCDやCD-Extra、CD-Rに記録した音楽などは正常に再生されない場合があります。あらかじめご了承ください。</li> </ul> </li> <li>●ラジオ <ul style="list-style-type: none"> <li>●FMラジオの場合、本体背面のFMアンテナを調整してください。また、本体/リモコンの&lt;ST/MONO&gt;ボタンで音声をモノラルに切り替えることで、音質が改善される場合があります。</li> <li>●AMラジオの場合、アンテナが本体に内蔵されているので、受信感度の良い場所に本体の設置してください。</li> </ul> </li> </ul>
SDメモ리카ード、USBメモリが認識されない	<p>お手持ちのSDメモ리카ード、USBメモリによっては、PCでいちどフォーマットを行わないと正常に認識できない場合があります。 PCで初期化を行ってから再度お試しください。</p>
パソコンや携帯電話からコピーした音楽データが再生できない	<p>著作権保護のかかった音楽データは再生できません。 音楽データの状態を確認してください。</p>



## 【サポートのご案内】

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー



CENTURY

■サポートセンター

〒277-0872 千葉県柏市とよふたおきはら十余二翁原240-9

**【TEL】04-7142-7533**

(平日 午前10時～午後5時まで)

**【FAX】04-7142-7285**

**【Web】** <http://www.century.co.jp>

**【Mail】** [support@century.co.jp](mailto:support@century.co.jp)

～お願い～

修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから  
発送をお願いいたします。

## アンケートにご協力をお願いします

センチュリー商品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。  
今後の商品開発などの参考にさせていただきますので、下記URLにてアンケートの入力を  
お願いいたします。  
どうぞよろしくお願いいたします。

～弊社商品につきましてはのアンケート～

**【URL】** <http://www.century.co.jp/que.html>



## — 本書に関するご注意 —

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適當に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※This product version is for internal Japanese distribution only.

It comes with drivers and manuals in Japanese.

This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.